

桜船会 だより

三菱電機大船地区定年退職者の会

創立 30 周年

第 48 号

発行日 2022.5.27

発行者 桜船会

発行責任者 木村允紀



2017 年キリンビールにて



2019 年三菱電機照明にて



2018 年榛名湖畔にて



2013 年湯河原幕山にて

桜船会創立 30 周年を迎えるに当たって

桜船会創立 30 周年に寄せて

桜船会 30 周年に寄せて

桜船会創立 20 年～30 年のあゆみ

“ハートでつなぐ”「桜船会」創立 30 周年に思う

—人生は思い出の積み重ね—

きょう この頃

桜船会だよりのあゆみ

行事・同好会報告

会員動向・編集後記

桜船会会長 木村 允紀

情報技術総合研究所 所長 松下 雅仁

労働組合東部研究所支部

執行委員長 堀 敏典

橋本 栄次

森 義昭

矢田 雅敏

皆川 良司

富山 勝己

事務局・編集班

桜船会は 1993 年 3 月 28 日に創立され、本年で 30 周年を迎えることとなりました。この記念すべき年ですが、一昨年より新型コロナウイルス感染のまん延に見舞われ、桜船会の全ての行事を中止せざるを得なくなりました。また、この 1 月から第 6 波のまん延が始まり、30 周年を記念すべき総会と春の懇親会の 5 月開催を中止せざるをえない状況ですが、この「桜船会だより」だけは発行を継続できるように編集班、執筆者の皆様頑張ってくださいました。

さて、このような状況で、この 30 年間を振り返ってみますと、日本社会は明るい社会であったとはいえない状況でした。桜船会創立の 2 年前頃からバブル崩壊が始まり、1993 年は、明るいニュースとして徳仁皇太子（現今上天皇）と雅子様の結婚の儀がありました。流行語は「平成大不況」「不良債権」「雇用調整」「消費不況」というネガティブな言葉ばかりでした。そして翌年からは松本サリン事件、阪神淡路大震災、ペルー日本大使館占拠(1996)、消費税 5%引き上げ(1997)、山一証券自主廃業(1997)、日本長期信用銀行経営破綻(1998)、銀行再編合併(1999)、そごう百貨店倒産(2000)などと経済面の問題が発生し、以降も「失われた 10 年」という言葉がはやり、またリーマンショックで一層深刻な状況に陥り「失われた 20 年」と続き、現在はコロナまん延により「失われた 30 年」という言葉もマスコミを賑わすようになりました。

このような 30 年でしたが、桜船会は歴代会長、役員、幹事、会員の皆様、および情報技術総合研究所、リビング・デジタルメディア業務部、本大船事務所、労働組合東部研究所支部の皆様方のご尽力・ご協力により、この 2 年間以外は、順調に行事を行うことができ 30 周年を迎えることができました。ここに深く感謝申し上げます。

これらの社会情勢のもとで、若年者の減少が顕著になるとともに、医療関連の発展が進み健康寿命年齢が大きく伸び、60 歳以降も働くことができるようになりました。その結果、三菱電機でも定年後も引き続いて働く方が多くなり、桜船会に入会される方が少なくなりました。一方、既会員の方々の高齢化が進み、退会・ご逝去された方が多くなり、会員数の減少が顕著になっております。10 年前の 20 周年時には 314 名でしたが、現在は 199 名となり、この十年間で

115 名の減員となりました。このような状況下でも会員の皆様方は、この「桜船会だより」各号でご紹介しておりますように、豊かなご趣味をお持ちになり活発に過ごされています。



また、桜船会の各行事にも多くの方が参加され充実した人生を過ごされています。これもひとえに、三菱電機の現役の皆様方のご尽力・ご努力のお蔭であると感謝いたしております。

さて、今後も 35 周年 40 周年に向かって役員・幹事一同、桜船会の運営に尽力していく所存ですが、このコロナまん延の状況がいつ収束するのか、まったく不明な状況下で各行事の計画など、役員会の開催もできない月があり苦勞しております。また、役員の高齢化も進み、新役員による若齢化も急務となっております。若い会員の皆様に新役員・幹事に就任していただきたく期待しております。依頼がありました時にはよろしくご協力の程をお願い致します。

2022 年中に、コロナ第 6 波が最後となり収束した暁には、30 周年記念懇親会を是非とも開催したいと思っております。会場は「桜船会だより 46 号」に情報技術総合研究所よりご紹介頂きました ZEB(Zero Energy Building)関連技術の実証棟「SUSTIE」の一階食堂を予定しています。ここは 2020 年 10 月 14 日に竣工した新しい建物で、食堂も素晴らしいインテリアデザインとなっています。30 周年記念にふさわしい会場で会員の皆様に楽しく過ごしていただけること期待しております。

以上、40 周年に向かって、会員の皆様のご健康とご多幸を祈念し挨拶とさせていただきます。



1993 年 第 1 回総会 桜船会創立

今年度より情報技術総合研究所の所長になりました松下と申します。この度は桜船会創立 30 周年、誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。またこの間、本会の運営にあたられました歴代の役員はじめ、会員の皆様のご尽力に深く敬意を表します。



本会は、設立世話人会を発足されたのが 1992 年、第一回総会となる設立総会の開催が 1993 年とお聞きしました。1993 年と言えば、皇太子殿下（当時）御成婚、横浜ランドマークタワー開業、細川連立政権樹立などが大きなニュースだったことを懐かしく思い出します。また三菱電機は、2021 年 2 月 1 日に創立 100 周年を迎えましたが、桜船会の歴史は凡そその 1/3 に重なるということになりますので、その間、活発に活動されてきた本会の歴史の重さを感じます。ちなみに当地区では、三菱電機 100 周年記念事業の一環として近隣の街路樹を鎌倉市へ寄贈いたしましたので、お近くにお立ち寄りの際に、ぜひ探してみてください（写真①）

さて昨年、明るみに出ました品質不適切事案につきましては諸先輩方に変なご心配をおかけするだけでなく、本会活動にも影響があったのではないかと思料し、深くお詫び申し上げます。ここ 2 年間ほどは、コロナ禍の影響で桜船会の活動もかなり制限されたのではないかと拝察いたします。当地区でもその影響は大きく、毎春、地元の皆様が大変楽しみにしてくださっている春まつりも 2020 年から 3 年連続で開催断念となりました。また日常業務の面でも大きな影響を受けています。在宅勤務環境を整備して、会社に置いてある大型計算機を自宅から遠隔操作で利用して研究開発を進めたり、自宅からオンライン会議に参加したりするなど、仕事の進め方も大きく変化しました。昨今のオンライン会議システムは大変よくできており、一昔前のテレビ会議システムよりも遥かに使いやすいものの、やはりコミュニケーションという点では実際に顔を突き合わせて語り合うことに勝るものは無く、難しさも感じているところです。その点では桜船会の皆様も同じではないかとお察しします。いわゆるオンラインイベントでの交流にもチャレンジされているのではと存じま

すが、一日も早く、親しい仲間が制限なく集まって一緒に楽しい時を共有できる日々が戻ってくることを願ってやみません。当地区としましても、一日も早い日常の回復に協力すべく、鎌倉市の新型コロナウイルスワクチン集団接種会場として当地区の体育館をお貸しだしてしています（写真②）。本会会員の皆様の中には、この集団接種会場を利用してくださった方もおられるのではないかと思料します。なお、この体育館は、昨年開催されたパラリンピック成功に協力すべく、コロナ禍が始まる前にはパラスポーツの車いすバスケット練習会場として存分に活用いただきました。こういった地域貢献活動を再開できる日が、早く戻ってきてほしいものです。

さて、30 年と言えば、オギャーと生まれた赤ん坊が立派な大人になり、社会人、企業人としての活躍の幅が大きく広がるころかと思えます。桜船会におかれましても、40 周年に向けてこれからはますます楽しみな会として発展されることを祈念して、私のお祝いの言葉とさせていただきます。



写真① 感謝状贈呈式および寄贈した桜の木



写真② 鎌倉市ワクチン集団接種会場（当地区体育館）

桜船会創立 30 周年、誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。また、桜船会の皆様にはご在職中より三菱電機労働組合の活動にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

桜船会創立から 30 年を迎えられることができたのは、会員の皆様をはじめ、運営に携わった方々の人と人とのつながりを大切にす強い気持ちがあったからだと思存じます。一昨年から続く新型コロナウイルス感染症によって活動が制限されるなか、桜船会の皆様は工夫を凝らし、できることを模索しながら活動を継続されていたことに敬意を表します。

三菱電機労働組合では 2020 年より「笑顔な毎日。ゆたかな人生。」を掲げ活動しています。毎日という短期的視点、人生という長期的な視点の双方を盛り込み、毎日の笑顔の積み重ねがゆたかな人生につながるという思いが込められています。そして「つながりを大切にしよう」をキーワードに、コミュニティの創出、コミュニケーションの促進に繋がる活動を推進しています。新型コロナウイルス感染症により、これまで基本にしていた顔を付寄せた活動が難しくなりました。今は積み重ねてきた取り組みを変えていかなければならず試行錯誤の連続ですが、桜船会のように活動を継続していくという強い意志を持って取り組んでまいります。

東部研究所支部事務所は 2020 年 12 月に長年慣れ親しんだ事務厚生棟 1 階から 1 棟 2 階に移転しました。移転の際に事務所のなかを整理したところ、1970 年代～2000 年代の組合活動の資料が出てきました。そのなかには、旅行やダンスパーティなどのイベントの資料もあり、当時の組合員の方々の笑顔が写っている写真も多く残っていました。もしかしたら、皆様にご参加されていたイベントもあったかもしれません。今でも様々なイベントを企画していますが、家族での参加が多く、組合員同士での参加は少なくなっています。時代とともに求められるものは変わっていくのは常ですが、当時のような組合員同士のつながりを実感できる組合活動に少しでも近づけるよう、今後も努力してまいります。そして、桜船会の皆様が桜船会を大切に思うのと同じように、私たちも

組合員一人ひとりが会社を大切に思い、会社を支える気持ちを持てる職場を目指してまいります。

新しい事務所は会社の桜並木がちょうど目の前に見える位置にあり、春には満開の桜を楽しめます。まだまだ未熟な私たちですが、桜船会の皆様には今後も桜のように私たちを温かく見守っていただければ幸甚です。



末筆ではございますが、桜船会の益々の発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、お祝いの言葉とさせていただきます。



▲東部研究所地区の桜（事務所より撮影）

年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
会長	萩原大義				木村允紀						
会員数(名)	315	306	298	281	264	243	240	220	211	200	200
桜船会 だより発刊	28 号 29 号	30 号 31 号	32 号 33 号	34 号 35 号	36 号 37 号	38 号 39 号	40 号 41 号	42 号 43 号	44 号 45 号	46 号 47 号	48 号

■2012 年度

- ・ 秋季バス旅行：志賀高原散策と草津温泉一泊
- ・ 秋の懇親会：創立 20 周年記念式典・懇親会
- ・ 春の行事：湯河原幕山公園散策

■2013 年度

- ・ 秋季バス旅行：富士山五合目と富士山麓周遊
- ・ 春の行事：玉縄城址とフラワーセンター散策
- ・ 同好会開設：ハイキング・デジカメ立ち上げ
- ・ ネット連絡網開設：電子メールによる役員同士、役員と会員、会員同志の連絡網立ち上げ
- ・ 桜船会ホームページ開設：桜船会だより、会則、お知らせ、活動計画、あゆみ、入会案内等を掲載

■2014 年度

- ・ 秋季バス旅行：那須高原と温泉一泊(参加者 37 名)
- ・ 春の行事：横浜港クルーズと三菱みなとみらい技術館見学(参加者 59 名)
- ・ 同好会：弘法山・湘南平ハイキング



2014 年度秋季バス旅行：那須高原にて

■2015 年度

- ・ 秋季バス旅行：世界遺産・国宝『富岡製糸場』とこんにゃくパーク見学(参加者 47 名)
- ・ 春の行事：根岸森林公園から三溪園散策
- ・ ハイキング同好会：高取山・西丹沢・頭高山散策
- ・ デジカメ同好会：フォトコンテスト実施

■2016 年度

- ・ 秋季バス旅行：信州上田城址と霧ヶ峰高原・蓼科温泉泊(参加者 28 名)
- ・ 春の行事：キンビール横浜工場見学と昼食会

■2017 年度

- ・ 秋季バス旅行：マザー牧場と鋸山ロープウェイ&東京湾フェリー(参加者 33 名)
- ・ 春の行事：JAXA『宇宙航空研究開発機構』/相模原キャンパス見学とイタリアン昼食会(参加者 52 名)



2017 年度秋季バス旅行：マザー牧場にて

■2018 年度

- ・ 秋季バス旅行：伊香保温泉と谷川岳ロープウェイ&ぶどう狩りの一泊旅行(参加者 22 名)
- ・ 春の行事：アサヒビール神奈川工場見学&ビール園での昼食(参加者 31 名)

■2019 年度

- ・ 秋季バス旅行：三菱電機照明(株)掛川北工場見学と駿河路、更に酒蔵で試飲(参加者 43 名)
- ・ 春の行事：JAMSTEC『地球情報館』見学の募集まで実施したが、新型コロナ感染急拡大により中止

■2020 年度～2021 年度

コロナ禍により総会、懇親会、秋季バス旅行、春の行事など全行事を中止。桜船会だよりは発刊継続

■2022 年度

5 月予定の総会は書面表決、懇親会は中止。以降の行事はコロナの感染状況を考慮して計画

2012 年 11 月に「桜船会」創立 20 周年記念式典と祝賀会が開催され、その席上配付された 20 周年記念号「桜船会だより」(第 29 号)の表紙は、20 枚の桜の花びらで飾られてあり、藤本幹事は、閉会に際しスライドで 30 枚の桜の花びらを映し出し、次の 30 周年に向けて「ハートでつないでいきましょう」と結ばれました。

私は、いたく感銘、感動させられく“ハートでつなぐ”「桜船会」>と題した一文を寄稿し、翌年 4 月発行の第 30 号に掲載されました。

それから 10 年、幸い生き長らえて 92 歳になりましたが、この度 30 周年に際し役員さんから寄稿を求められましたので、一筆メッセージを書かせていただきます。

私の船電在職は、7 年でしたが、「桜船会」は 30 年、これまで 92 年に及ぶ私の人生において、皆様とのご縁がいかに深いかと、ひとしお感慨に耽っております。

「人生は思い出の積み重ね」—これは、わたしの敬愛する城山三郎氏の言葉ですが、人生の晩年に入って、つくづく、その通りと共感し、特に、船電時代そして「桜船会」30 年にわたる皆様との思い出が、懐かしく、味わい深く思い出されます。

退職後、私は、私が勤務した伊電、本社、そして労組の親睦会や同期会等に出ておりましたが、ここ 2~3 年、コロナ禍で中止、会食懇親会だけだったので、中断状況。唯一「桜船会」だけが「桜船会だより」の発行と、各種サークル活動でつながっております。

「人生は思い出の積み重ね」とは言うものの、高齢化にともない、昔の記憶が薄れ、記録として残されてあるものが、「思い出」として回想されます。

「船電時報“かがやき”」と「桜船会だより」は貴重な記録です。

「桜船会だより」を毎号手にするごとに、単なる紙面ではなく、「桜船会」の息吹が伝わってくるのを覚えます。そして旧知の会員の「いきいきライフ」を読むと、その方々と会って対話している気分になり、色々思い出が甦ってまいります。

しかし、反面、20 周年記念式典では、創立当時の

話をされた大長老・郷原重雄さんをはじめ、ご親交いただいた方々が亡くなられ、往時の「桜船会だより」(注)を読み返しては、「思い出」を偲んでおります。

(注)「桜船会だより」2011 年 5 月発行第 26 号拙稿
＜「桜船会」で触れ合ういきいきライフ＞等

私も最近では、「日に日に近づくあの世の門」といった心境です。

一昨年卒寿に際し詠んだ私の「辞世の歌」を添えさせていただきます。

- ・わが人生 多くの方のおかげなり
感謝に堪えず 感謝あるのみ
- ・われ生きた 思う存分われ生きた
ああ満足だ ああ有難や

私は、晩年になって「ご縁」ということをしみじみ味わっております。「縁結び」は結婚だけではありません。家庭でも、学校でも、職場でも、そして、世間一般においてでも「縁」あって、人間関係が作られます。しかも「良縁」は結婚だけではありません。学友、職場の仲間、世間の付き合いにおいても「良縁」に恵まれるかどうか、その人の人生において極めて大事なことです。

縁あって、皆様と船電に勤務し、定年後も縁あって「桜船会」で交流が続いていること、まことに幸せな人生、改めて、心から感謝申し上げます。

ハートで繋ぐ「桜船会」が、今後とも、継続発展することを念願し、会員皆様のご健康とご多幸を心から祈念いたします。



筆者と妻幸子(85歳)、2022年元旦
伊豆ヘルス・ケア・マンションにて

三菱電機に勤務して、この大船地区で定年を迎えられた定年退職者の集い＝桜船会＝が産声を上げて以来、30年をめでたく迎えられたことを、大変嬉しく思います。私は桜船会創立以来のメンバーの一人で、初代会長鈴木義春様のお誘いで、1997年には幹事、1999年には事務局長、2003年には会長としての会の運営に参加させていただきました。

この間 2008年5月に、澤野德行様にバトンタッチするまで11年の長きに亘り、会の運営に携わって参りました。その間情報総合技術研究所、労働組合、そして桜船会に深いご理解をいただく会員の皆様に助けられ、厚く御礼申し上げます。

桜船会の歴史によりますと、会員数は1993年第1回総会は86名、私が会長をお受けする2003年には312名と言う大所帯にまで発展しておりました。最近では199名と落ち着いた会員数になっているようですが、今後とも、桜船会が永続されることを望んでおります。

さて、超・少子高齢化社会が進展する中で、高齢運転者に係わる交通事故の防止が社会的にも重大な課題となっております。加齢とともに身体機能が低下することをよく理解することが必要です。自信と過信は紙一重、薄暮時や夜間の運転を避けて昼間にすることを心掛けていました。私は運転技術が別段優れている訳でもなく周囲から、特に女房から、事故を起こす前に運転を止めるように、強く言われるようになりました。運転中の「ヒヤリ」「ハット」など危険を感じることも多くなりました。更に自分の駐車場で、親戚の人の車に軽くぶっつけて傷を付けてしまったのが、とてもショックでした。年齢も昨年85歳となり、思い切って運転免許証を返納しました。

しかし車のない生活とは、実に不便です。特に買物が不便。プールにも通えず、水泳も断念しました。運転時の緊張感も無くなり、今ではひたすら歩け、歩けの生活です。

昔から弾いていたウクレレは、中断期間もありましたが今も弾き続けております。ギターリスト矢島真先生とは、2001年からの付き合いで、かれこれ20年になります。現在でも月2回のレッスンは欠かしておりません。しかし思わぬことでコロナ騒ぎが、

2年以上も、続くとは、思いませんでした。今まで当たり前だった暮らしが、すっかり変わりました。何を忘れてもマスクだけは必携になりました。どこの店でも、店の出入りに消毒を欠かさずシュッシュュするようになりました。家庭でも同様に消毒するようになりました。



以前はレッスン後の仲間との昼食会が楽しく、情報交換の良い場所でした。しかし現在では集まる適当な場所が無く、3密を避けて中止となり、寂しい限りです。発表会も2年に一度は大きなホールで、100名を超す生徒が集い、延々4時間を超すウクレレパーティーが楽しみでしたが夢のまた夢、中止されたままになっています。先生のリサイタルも、この騒ぎで開かれていません。最近になり、ようやく小さなリサイタルを開催しているようですが、ミュージシャンも大変苦労されているのだと思います。

ところで最近は忘れ物をすることが多くなりました。昨年の1月には大事なウクレレをビックカメラ藤沢店で失いました。買い物中の不注意です。注意力散漫でした。

昨年4月末には、左腕が帯状疱疹になり、1週間緊急入院しました。入院なんて小学生の頃、みんなで竹馬遊びをしていて、右足をくじいた時以来2度目です。帯状疱疹の痛さは、退院後も長く続きました。

また昨年の7月には、雨の中、病院からの帰り、玄関で転倒し、顔面を負傷しました。コロナの影響で、すっかり体が鈍り、運動不足になってしまった結果だと思えます。

オミクロン株の流行で新型コロナの第6波感染が急速に拡大していますが、1日でも早く、コロナ騒ぎが終息し、明るい日々が戻ることを願っています。そして楽しい旅行が、自由に安心して行けますように、祈っている『きょう この頃』です。

■表紙の写真について

コロナ禍で2年間対面での行事が開催できませんでした。会員の皆様の笑顔を少しでも見ることが出来るようにと、過去10年間の表紙の集合写真7枚から4枚を選んで編集し表紙としました。

■桜船会だよりのあゆみ



創刊号 1998年

10周年記念号
第8号 2002年20周年記念号
第29号 2012年

桜船会だよりは、創刊号から第18号まで表紙は、単色(黒・緑・茶など)で本文は白黒印刷でした。第19号から表紙のみカラー印刷となり、第32号(2014年)から全ページカラー印刷となりました。但し残っている電子データは第17号からカラーでした。また20周年記念号は、皆様からの投稿が多く過去最多の36ページでした。桜船会ホームページには、第28号(2012年)から全ページカラーで掲載しています。

■10年間の発行桜船会だよりの表紙

【第30号 2013年4月～第47号 2021年11月】



20周年からの10年間で18編発刊することが出来ました。会員の皆様の投稿の賜物です。ありがとうございました。

■行事関連報告

2021年度も新型コロナ感染が終息せず、総会から秋のバス旅行、懇親会、春の行事までの全てが前年度に続いて中止とせざるを得ませんでした。

コロナが早く終息して、安心安全に皆で再会できる日を楽しみにしております。

■同好会報告

新型コロナ感染者が全国で200人/日以下となった昨年12月15日(水)に蜜を避けて鎌倉宮から紅葉谷、大平山、六国見山、大船駅までの忘年山行を8名で実施しました。鍋パーティは次回の予定です。



事務局

会員動向・編集後記

■会員動向(敬称略)(2021.10.1～2022.3.31)

- ・会員数：200名
 - ・入会者：2名 網嶋 武 井上 博史
 - ・退会者：なし
 - ・物故会員：1名 村上 勝男
- 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

■編集後記

今回の第48号は創立30周年号としてご挨拶とあゆみを中心に掲載しました。コロナ禍で行事が出来ないことでページ数を増やせず記念号と称することは止めました。また新型コロナの第6波、3月の大地震、ロシアのウクライナ侵攻と大きな騒動が続いています。会員の皆様には平穏に過ごせますよう祈念しております。

第49号も執筆者がおりません。編集班からの執筆依頼には快くご承諾いただきたくお願い致します。

■桜船会 URL <http://www.ousenkai2013.com/>

編集責任者：皆川良司

編集委員：橋本栄次

印刷所：(株)さんこうどう

